

生活科学習指導案

単元名「 たのしい あき いっぱい 」

〔学指要領：内容（５）季節の変化と生活

（６）自然やものを使った遊び〕

令和５年１０月２５日（水） 第２校時 １－２教室

桐生市立天沼小学校 １年２組 指導者 大原 野以

（特別支援教室教諭 狩野 嘉仁）

（教育活動支援員 石井 滯）

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目標	児童の実態
知識及び技能	・秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くことができる。	・春、夏に見られる動植物に気付いている。 ・夏の特徴に気づき、水遊びをすることができる。
思考力、判断力、表現力等	・秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができる。	・春から夏の季節の違いや特徴に気付いている。 ・夏の草花遊びでは、手本をまねして作ったり遊んだりしてきたが、自分で遊びを工夫することが苦手な児童が見られた。
学びに向かう力、人間性等	・秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ、自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりしようとする。	・生活の時間以外でも、花や草を集めて自分で遊びを考えたり、友だちと関わりながら遊んだりすることができる。

2 評価規準

知識・技能	①学校や学校の周りの秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。 ②学校や学校の周りの秋の自然は、いろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりすることの面白さに気付いている。 ③みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。
思考・判断・表現	①四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。 ②楽しみたい遊びを思い描きながら、比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。 ③遊びの約束を工夫しながら遊んでいる。 ④園児の遊ぶ姿を想像し、遊びのルールや面白さの伝え方を工夫して考えている。
主体的に学習に取り組む態度	①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。 ②学校や学校の周りの秋の自然について、その様子や特徴に応じながら、関わろうとして

	いる。 ③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。
--	--

3 指導及び評価、ICT 活用の計画(全 22 時間:本時第 15 時)

時	学習活動	知	思	態
1	・保育園や幼稚園での遊びや普段の生活で見つけた身近な秋について話し合う。(あ)			①
2～5	・秋探しを行う。 ・見つけたものを紹介し、簡単に遊ぶ。(あ)	①	①	
6～7	・「秋のたからもの」を使ってしたいことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 単元の課題 ねんちょうさんをしょうたいして「あきのたからもの」でいっしょにあそぼう。 </div> ・「秋のたからもの」を使って、遊ぶものや飾るものを作る計画を立てる。(あ)			
8～9	・園児と遊びたいおもちゃごとにグループを編成し、集めた様々な自然物を試しながら比べて材料を選び、自分たちのおもちゃをつくる。(あ)			②
10～11	・作ったおもちゃを自分たちで試したり、同じおもちゃを作っている友達に遊んでもらったりして、自分のおもちゃや、遊び方のルールを改良する。(あ)	③	③	
12～15	・学級全体で作ったおもちゃを紹介し合う。 ・園児の遊ぶ姿を想像しながら、ほかの班のおもちゃで遊び、園児が楽しく遊べるよう改善点をアドバイスし合う。(本時) ・おもちゃを手直しする。(あ)		②	
16	・園児と一緒に遊ぶために必要なものや必要なことを話し合う。(あ)		④	
17～19	・園児と一緒にあそぶための会場作りをする。(あ)			
20～21	・「秋のおもちゃ」で園児と一緒に遊ぶ。(あ)	③		
22	・これまでに書いてきたワークシートを折りたたみ絵本にまとめ、秋の思い出や秋の自然と自分の関わりについて、振り返る。(あ)			③

*活用する学習支援ソフト等:(あ)パドレット

4 学習対象の価値

秋は、どんぐりや松ぼっくり、落ち葉など、自然遊びの素材が豊富な季節である。これまで春夏の草花遊びにより、自然とふれあう体験を積み重ねてきており、その中で自然に対する興味を高めてきた。そこで、本単元では、秋の自然物を使っておもちゃを作り、それらで遊ぶことを通して、自然物の面白さや不思議さに気付き、材料によって動きが変化するなど、体験活動を通してみんなで遊ぶことの楽しさが味わえるようにしたい。さらに、自分たちが作った遊びで、園児と楽しく遊ぶ計画を立てることで園児の遊ぶ姿を考えたり、思いやったりすることができるようにしたい。

II 本時の学習(13/22)

1 ねらい

園児とおもちゃで遊ぶ練習を通して、園児の遊ぶ姿を想像したり、自分のおもちゃを見直したりしながら、遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気づき、友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。

2 準備

(教師) タブレット、テレビ、アドバイスシート

(児童) 自分の作ったおもちゃ、評価シール、タブレット

3 展開

主な学習活動 主な発問 児童の反応・発言等[S]	時間	○指導上の留意点 ☆ICTの活用 ◎評価項目
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>S：年長さんが遊びやすいおもちゃにしたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈めあて〉 ともだちの「あきのおもちゃ」であそんで、ねんちょうさんがもっとたのしくあそべるようにアドバイスしよう。</p> </div>	5	<p>○前時と本時の活動をつなぐことができるよう「つなぐ」の内容を振り返る。</p> <p>○本時のめあてを達成する見通しがもてるよう、まず遊ぶこと、次に改善点を考えアドバイスをすること、その後手直しをすることを確認する。</p>
<p>2 他のグループに、作ったおもちゃで遊んでもらい、園児が楽しく遊ぶための改善点を考えたり、遊びに行きアドバイスしたりする。</p> <p>① 他のグループに遊びに来てもらう。【1年生役】</p> <p>S：年長さんは楽しく遊んでくれるかな。</p> <p>S：思ったより◎が少ないのは、遊び方がわかりにくいからかな。</p> <p>S：△にシールを貼った理由は、点数が入りにくいからって言っていたよ。</p> <p>② 他のグループに遊びに行く。【園児役】</p> <p>S：色々なけん玉があってかわいいけど、なかなか入らないから△にシールを貼ったよ。</p> <p>S：10点の丸がもう少し大きいと、当たりやすくなるよ。</p>	15	<p>○改善点に気づき、アドバイスすることができるよう、十分に遊ぶ時間を確保する。</p> <p>○アドバイスし合うことができるよう、1年生役と園児役に分かれ、前半、後半で交代する。</p> <p>○園児と遊ぶという目的意識を保持できるよう、園児になりきって遊ぶよう促す。</p> <p>○園児が楽しく遊ぶための改善点に気付けるよう、児童が遊ぶ様子を見ながら、園児の様子を思い浮かべるよう声かけを行う。</p> <p>○園児役が児童がアドバイスを伝えやすくなるよう、遊んだ班の◎・△のそれぞれのアドバイスシートに評価シールを貼るよう促す。</p> <p>○児童が改善点を基に手直しができるよう、評価シールを貼った理由や、アドバイスの内容を問いかけながら回る。</p> <p>○児童が改善点に気付けるよう、他のグループの児童が自分たちのおもちゃで遊んでいる様子を見て、もっと楽しくするための工夫がないかを問いかけながら回る。</p>

<p>3 改善点を基に話し合いをする。</p> <p>S：まどが小さくて入らないから、大きいまどに変えよう。</p> <p>S：箱をななめにしたらいっぱい入りそう。</p> <p>S：たまを投げる位置を変えたり、たまも選べるようにしたりしたら、もっとおもしろいかもね。</p>	<p>15</p>	<p>○園児が楽しく遊べるおもちゃになるよう、作ったおもちゃの改善点を具体的に話すよう促す。</p> <div data-bbox="868 342 1481 571" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎評価項目【思】 (アドバイスシート、観察) 楽しみたい遊びを思い描きながら、比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。</p> </div>
<p>4 本時のめあてに対するまとめと振り返りを行い、次時への見通しをもつ。</p> <div data-bbox="188 701 778 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈まとめ〉 ともだちの「あきのおもちゃ」であそんで、アドバイスができた。</p> </div> <div data-bbox="188 857 778 996" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈つなぐ〉(次時の活動予定) ねんちょうさんがもっとたのしくあそべるためにおもちゃをパワーアップしよう。</p> </div> <div data-bbox="188 1014 778 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返り〉 S：年長さんが遊びやすいように、たまが入りにくいから、たまが入りやすくなるようにしたいです。</p> </div>	<p>10</p>	<p>○次時への意欲をつなげるよう、本時の取組を価値付けると共に、主体的に話し合う姿を具体的に称賛する。</p> <p>○次時の活動に児童が主体的に取り組めるよう、「次の時間に何をしますか。」と問いかけ、児童の思いをもとに次時の活動を決定する。</p> <p>○本時の学習を振り返ることができるよう、アドバイスを基に改善する箇所を問いかける。</p> <p>☆今までの活動を振り返りやすくなるよう、パドレットをつかって振り返りを行う。</p>